

平成29年度年報



【平成29年9月 国際ワークキャンプのボランティア活動による下刈（七飯町吉野山国有林）】

森林ふれあい推進センターは、

国有林野を活用し、自然再生や生物多様性の保全に取り組むNPOや森林環境教育に携わる教育関係者等の活動を技術的に支援する組織として、平成16年4月に設置されました。



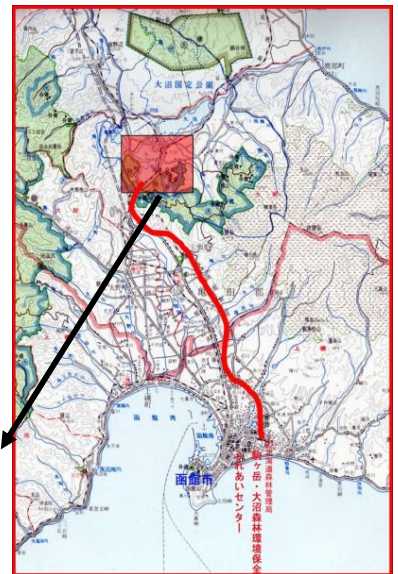
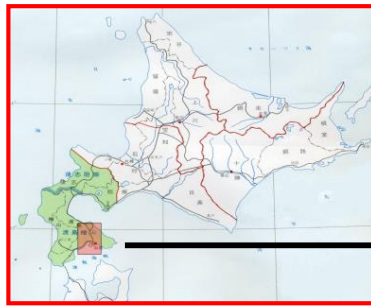
林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

大沼地域自然再生等モデル事業の取り組み

モデル事業地は、大沼国定公園エリアに所在し、漁業関係者から水質保全、観光関係者から景観の維持向上、自然保護関係者から鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっています。

このため、モデル事業の推進について、自然保護関係者や民間ボランティア団体等の代表者で構成する検討委員会を開催し、モデル事業地の箇所を選定、森林の取り扱い、事業の推進方法等についてのグランドデザインを作成するとともに、地域等が大沼地区の国有林に求めているニーズをモデル事業に反映するよう努めることにしています。

「大沼地域自然再生等モデル事業」は、地域住民等と連携し、**「多様性のある森林への再生」**と当該地及び近接地において**「森林環境教育の推進」**を主とし、取り組むこととしています。



- ＝ 検討委員会 ＝
- 平成16年度
グランドデザイン作成ために3回実施。
 - 平成17年度～平成26年度「グランドデザイン」に基づく事業内容の検証及び検討のため年に2回実施。
 - 平成28年12月
役割の一部を「大沼自然豊かな森づくり協議会」に継承して終了。

☆「大沼自然豊かな森づくり協議会」の開催

平成29年3月6日（月）、南北海道大沼婦人会館（七飯町）において、平成29年「大沼自然豊かな森づくり協議会総会」を開催しました。平成28年度の実行内容、平成29年度の計画と実行体制について事務局より提案のあと、検証等討論を行いました。委員からは「森林や自然に関心を持つ世代が育っていない」「観察会に子どもが参加する取り組みが必要」などの意見が出されました。併せて役員体制について、全員が承認され、これからも自然再生等の各種事業実行に当たり、お互い協力・連携を図り取り組むことを確認し総会を終了しました。

★当協議会は、大沼地域自然再生等モデル事業のグランドデザインに基づき、森林の再生活動を行うことを目的として平成17年4月に組織されたものです。

協議会の様子（平成29年3月6日）



協議会参加団体等名
大沼漁業協同組合
大沼町内会連絡協議会
大沼の水と緑を守る会(NPO)
北海道国際交流センター(NPO)
北方森林鳥類調査室クマガウ研究会(NPO)
函館地方国有林退職者緑の募金推進協議会
21世紀の道南の森林づくり事業実行委員会
個人会員及び関係行政機関

☆ 多様性のある森林への再生

大正14年植栽ドイツトウヒ人工林と昭和56～58年植栽トドマツ人工林、及び昭和27年度植栽カラマツ人工林の22.90haの森林を、地域ニーズを踏まえた生物・水質・景観など多様性のある森林へ誘導します。【具体的には、周辺の天然林を参考とした森林へと育成します】



「多様性のある森林への再生」箇所において、様々な取り組みを行っています。平成29年度の主な実施内容は、次のとおりです。

「カミネッコンによる植付作業」の実施

平成29年5月27日（土）、大沼自然豊かな森づくり協議会及び一般公募のボランティア総勢19名により上層木がまばらな箇所へ、カミネッコンによるミズナラ、イタヤカエデ、ヤチダモ、ナナカマド、アオダモなどの植付けを行いました。

カミネッコンは再生紙や古紙で作ったリサイクルポットです。

当日は小雨が降るあいにくの天候のため、同協議会宮崎会長の作業小屋をお借りし、カミネッコンに苗木を移植するまでの作業を行いました。皆さん最初は手間取っていましたが、次第に慣れて、予定した約100個が完成しました。後日、すべて植栽地へ移動し植付を完了しました。





「国際ワークキャンプ」の受け入れ

「国際ワークキャンプ」とは、世界中から集まった若者が一緒に生活しながら、「森林の手入れ」、「動植物の保護」、「有機農業の支援」、「学校の建設」など地域での環境ボランティア活動を行う「国際ボランティアプロジェクト」で、世界約100か国、約3,000箇所で行われています。日本では国際ボランティアNGOのNICE（ナイス）が「国際ワークキャンプ」の企画、運営、参加者の募集等の事務を行います。日本各地に協力団体があり、北海道では函館市にある「北海道国際交流センター」が受皿団体になっています。

当ふれあいセンターでは、吉野山国有林（七飯町字大沼）で実施している「大沼自然再生等モデル事業」において、自然再生等への取り組みの一環として、各種森林ボランティア活動の機会を提供しています。今年、イギリス、ドイツ、ベルギー、スペイン、メキシコ、マカオ、中国、日本など8カ国、15名の20代を中心とした若者が参加し、7月25日から9月12日までの中で、5日間と例年になく短い期間となりましたが、地拵、植付、下刈、作業道修理などの作業をサポートしていただきました。

概要説明



作業終了後、集合写真



地拵・植付作業



下刈作業



作業道敷き砂利作業



吉野山森林植生観察会の実施

自然再生の取り組みが始まってから10年が経過したことから、主に下層植生の変化（変遷）を観察するため、一昨年、昨年に引き続き春季6月17日（北海道フラワーソン2017参加）、秋季9月23日に、「植生観察」を実施しました。大沼自然豊かな森づくり協議会のメンバーと一般公募によるボランティア延べ33名の参加がありました。

春季
6月17日



秋季
9月23日



☆ 森林環境教育（樹木博士認定会）の推進

西大沼国有林の樹木博士認定常設コース（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図る活動を実施しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための樹木博士認定会の開催や研修会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



樹木博士認定常設コース



常設コース看板



認定会の様子

樹木博士認定会とは

樹木の名前や識別方法を学習した後、樹木名を答える試験を行うもので、それをきっかけとし、森林に親しんでもらうことを目的とした森林環境教育（アウトドア活動プログラム）のひとつです。

樹木博士認定コース

子ども樹木博士認定活動推進協議会（平成12年設立）のプログラムを採用し、平成16年には、この活動を地域に広めることと森林環境教育に関する指導者の養成を図るための活動の拠点として、誰でもいつでも利用できる「常設コース」を大沼国定公園内の西大沼国有林（七飯町）に開設し、対象者を子ども達だけではなく一般にも広げ、毎年定期的で開催しています。



樹木博士認定コース案内板

進め方

1時間程度の樹木の説明を受けた後、樹種名（20～30種）を答える試験を行い成績に応じて段級（最高位は10段）を与え、認定書を授与します。



樹名板

認定書

コース概要

- ◆ コースの距離 事前学習コース [450 m]
テストコース [390 m]
周 遊コース [2,050 m]
- ◆ 試験 樹 種 46種（ブナ・ミズナラ・スギなど）



左写真はセンターで作成した「樹木ガイドブック／全70ページ」（平成23年3月発行）

このガイドブックにより、樹木の説明を行います。



平成29年度の樹木博士認定会の取組については、公募により6月・7月・8月・9月の4回を計画し、雨のため中止となった6月の第1回を除く3回の定期開催を実施しました。

また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で取り組んでいる生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。

定期開催の結果の内容等については、次のとおりです。

第1回雨天中止 下は常設コース位置図



第2回開催（西大沼）



第3回開催（西大沼）



第4回開催（茂辺地）



本年度の定期開催の参加者は延べ23名で（第1回雨天中止の時の申込者16名）例年と変わらず、今年も参加者数が伸び悩んでいることから教育機関等への働きかけをすると共に他のイベントやHPでPR活動を行っていきます。

● 定期開催結果

回数	認定会日時等	参加者	内 訳
第1回	6月 4日（日） 10：00～12：30（西大沼）	中止	子供、大人
第2回	7月 2日（日） 10：00～12：30（西大沼）	8人	子供 1、大人 7
第3回	8月 6日（日） 10：00～12：30（西大沼）	7人	子供 0、大人 7
第4回	9月 3日（日） 10：00～12：30（茂辺地）	8人	子供 2、大人 6

● その他開催

森への誘い講座・江差北小グリーンスクール・OJT	50人	子供23、大人27
--------------------------	-----	-----------

● 樹木博士認定状況

29年度末 累計	2,464人（平成12年度の旧函館分局から行ってきた合計です）
----------	---------------------------------

☆ 自動撮影装置による野生動物調査

当センターでは、大沼周辺(七飯町)の森林における野生動物(中大型哺乳類等)の生息調査を実施しています。

- 調査目的・・・野生動物の生息状況を長期的に記録し、その変化と環境の変化とのかかわりを研究する。
- 調査方法・・・自動撮影装置(カメラ)による撮影
(赤外線センサーに反応する動物を撮影)
(平成26年度よりデジタルカメラを導入)
- 調査時期・・・年2回(夏、秋)実施

自動撮影カメラの設置



PHOTO



タヌキ



コウモリ



ニホンテン



エゾシカ



ヒグマ



エゾリス

☆ 森林づくり塾2017 開講

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成を目的としています。

「森林（もり）づくり塾」の取り組みは今年で11年目となります。公募を行った結果、函館市や近郊の市町村などから17名の参加があり、今年も渡島総合振興局東部森林室主催の「森への誘い講座」と連携して実施しました。「森林づくり塾」は森林作業を中心とした6回の講座で、そのうち「森への誘い講座」の1講座を共同開催として組み込み、ほかの2講座にも参加可能として、全8回の講座に参加をしています。

第1回講座

第1回は、5月28日（日）、函館山で植生観察会を開催しました。北海道アウトドアガイドの自然観察指導員 木村マサ子さんを講師に、函館山のウワミズザクラやヤマシャクヤクなどの自然を観察しながら、旧日本軍の施設跡、スギ植林の歴史、立木調査法などを学び、函館山の歴史や森林に触れる楽しさ、林業や植林についても理解を深めた講座となりました。



第2回講座

第2回は、6月18日（日）、「森への誘い講座」との共同開催で32名が参加し七飯町カリマ国有林で下刈作業を実施しました。当日は快晴で駒ヶ岳や遠く羊蹄山もかすかに確認でき、多少風があるものの気温も上がる中、安全のため鎌の使い方などを学習したあと、植えられたトドマツの苗木を傷つけないように作業を行いました。



第3回講座

第3回は、7月9日（日）、「森への誘い講座」の受講生も含めて21名が参加して七飯町軍川国有林でトドマツの保育間伐作業（除伐Ⅱ類）を実施しました。

安全な作業について説明を受けた後、慣れない鋸に苦労しながらも、受け口切り、ツルを残すように追い口切り、倒れた木の枝払、最後に玉切りと一連の作業を行っていました。



第4回講座

第4回は、8月27日（日）、江差町水堀にある砂坂海岸林（飛砂防備保安林）を見学しました。

当日は海岸林が荒廃した状況や再生の道のりを学習したあと、砂の移動を抑えるため植栽されたケカモノハシなど8種類の海岸植物を調査、造成された人工砂丘、三角防風柵の効用、大きく育ったクロマツ林などを見学し、海岸林の存在と効果、大切さを確認していました。



第5回講座

第5回は、9月24日（日）、七飯町吉野山国有林で「森への誘い講座」の受講生も含め21名が参加して、カミネッコンによる植付作業を実施しました。

最初カミネッコンの組み立てに手間取っていましたが、徐々に慣れて、終了予定の時間までに、ミズナラ、アオダモなど約170本を植付けることができました。



第6回講座

第6回は、12月6日（水）、渡島総合振興局の一室をお借りして、「森への誘い講座」と「森林づくり塾」の併せて21名が参加しリースづくりを共同開催しました。作り方の説明のあと、最初に「木の実」「ドライフラワー」「光り物」などの飾りを選び、構図をしばし考えてから、制作に取りかかり、じっくり時間をかけて、素敵なリースを完成させていました。



「森への誘い講座」への参加

渡島総合振興局東部森林室主催の「森への誘い講座」に「森林づくり塾」の塾生が、参加しました。



8月30日
横津岳～
烏帽子岳登山

10月25日
道南四季の杜公園
きのこ観察会



☆ 森林環境教育

🌲 はこだて花と緑のフェスティバル2017に参加

6月11日（日）、はこだてグリーンプラザ（松風町）で「はこだて花と緑のフェスティバル2017」が開催されました。

当ふれあいセンターでは、自然再生モデル事業、森林環境教育の取組、花や動物の写真を「パネル展示」で紹介したほか、小さい子どもに人気だった木の動物（おもちゃ）の展示と「木工体験」としてマイ箸づくり体験を行いました。



🌲 放課後児童クラブで森林教室を開催

6月24日（土）、函館市末広町の放課後児童クラブで森林教室を開催しました。

当日は小学生16名が参加し、紙芝居「森林からの贈り物」、いつも遊んでいる神社の木やタネの話、タネの模型づくり、木の実、小枝、輪切り版などを使ったクラフトづくりを行いました。タネの模型づくりでは、折り目を付けたり、おもりのクリップの位置を変えるなど、工夫して飛ばしていました。また、クラフトづくりでは、「侍と家来」「基地」などいろんな発想で、制作していました。今回は森林の役割、身近な木、タネの飛び方、葉の形、枝、年輪などについて、見聞きし触ることにより、親しみや興味を持ってもらえた森林教室となりました。



🌲 「道民森づくりネットワークの集い2017」に参加

9月10日（日）、札幌市、野幌森林公園で「道民森づくりネットワークの集い2017」が開催され、木のぼり体験、木のブランコ、丸太の玉切り、カミネッコン苗づくり、ガイドウォーク、木工教室など多彩な催しが行われました。

当センターからは、今年度実施した「大沼地域自然再生等モデル事業」「森林環境教育」などの取り組みや、道南の樹木や草花、大沼周辺の動植物を紹介したパネル展示、輪切板の展示などを行いました。





檜山森林管理署主催「グリーンスクール」に協力

9月14日（木）、檜山署主催の「江差北小学校グリーンスクール」が砂坂海岸林で開催され、当センターは5・6年生を対象に子ども樹木博士認定会を実施しました。

当日は、まず「ギンドロの葉の裏は真っ白」「幹にとげのあるのがハリギリ」など12種類の樹木の特徴について学習したあと、試験ではなじみの無い名前の樹木もあるなか、満点や高得点の子もたくさんおり、後日、子ども樹木博士認定書を授与しました。



渡島東部森林室主催「森への誘い講座」を支援

渡島総合振興局東部森林室主催「森への誘い講座」への支援を、5月10日（水）開講式において国有林の概要についての講演、9月27日（水）七飯町（西大沼国有林）の樹木博士認定常設コースにおいて樹木博士認定会の開催によりそれぞれ行いました。

樹木博士認定会では、16名が参加し、ムラサキシキブの鮮やかな色の実など、それぞれの樹木の特徴を楽しみながらも真剣に取り組まれ、みなさん優秀な成績で終了しました。



函館市本通小学校の樹木園で森林教室

10月20日（金）と11月13日（月）、本通小学校の校庭にある樹木園で6年生48名を対象に森林教室を実施しました。1日目は、ガイドブックを片手に、樹木の名前と特徴を学習したあと、その成果を試しながら、そのほかの樹木を調査し対象木の名前をすべて記録しました。2日目は、巻き尺とロープで1m×6mに区切り、前回調査した樹木の位置を図面に記録するマップ作りを行い、みんなで協力して「本通小学校樹木園マップ」を完成させました。

また、2月22日（木）に、生徒一人一人が自作した樹名板を卒業記念として設置しました。



平成29年度の活動一覧

年月日	曜日	実施内容
H29. 5.10	水	東部森林室「森への誘い講座」への支援(東部森林室で講演)
H29. 5.27	土	大沼自然豊かな森づくり協議会の植付作業(吉野山国有林)
H29. 5.28	日	第1回森林づくり塾(函館山)
H29. 6. 7	金	「函館大学付属有斗高等学校 希望の森づくり」下刈作業を支援(カリマ国有林)
H29. 6.11	日	はこだて花と緑のフェスティバル2017に参画(函館市)
H29. 6.14	水	「函館大学付属柏稜高等学校 永久の森づくり」下刈作業を支援(カリマ国有林)
H29. 6.17	土	春期吉野山森林植生観察会(吉野山国有林)
H29. 6.18	日	第2回森林づくり塾(カリマ国有林)
H29. 6.24	土	放課後児童クラブで森林教室開催(函館市)
H29. 7. 2	日	第2回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H29. 7. 6	木	(~H29.7.27)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H29. 7. 9	日	第3回森林づくり塾(軍川国有林)
H29. 7.25	火	(~H29.9.12)国際ワークキャンプ(吉野山国有林等)
H29. 8. 6	日	第3回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H29. 8.27	日	第4回森林づくり塾(砂坂国有林)
H29. 8.30	水	「森への誘い講座」への参加(横津岳)
H29. 9. 3	日	第4回樹木博士認定会(茂辺地国有林)
H29. 9. 5	木	(~H29.9.26)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H29. 9.10	日	道民森づくりネットワークの集いで情報発信パネル展示(札幌市)
H29. 9.14	木	江差北小学校の森林教室「グリーンスクール」で樹木博士認定会(砂坂国有林)
H29. 9.23	土	秋季吉野山森林植生観察会(吉野山国有林)
H29. 9.24	日	第5回森林づくり塾(吉野山国有林)
H29. 9.27	水	東部森林室「森への誘い講座」への支援(西大沼国有林で樹木博士認定会開催)
H29.10.20	金	本通小学校で森林教室開催(函館市)
H29.10.25	水	「森への誘い講座」への参加(道南四季の杜公園)
H29.11. 7	火	(~H29.11.8)ふれあいセンター等事業検討会(知床国有林)
H29.11.13	月	本通小学校で森林教室開催(函館市)
H29.12. 6	水	第6回森林づくり塾(渡島総合振興局)
H30.2.22	木	本通小学校で森林教室開催(函館市)
H30. 3. 5	月	大沼自然豊かな森づくり協議会を開催(南北海道大沼婦人会館)

主な活動実施区域



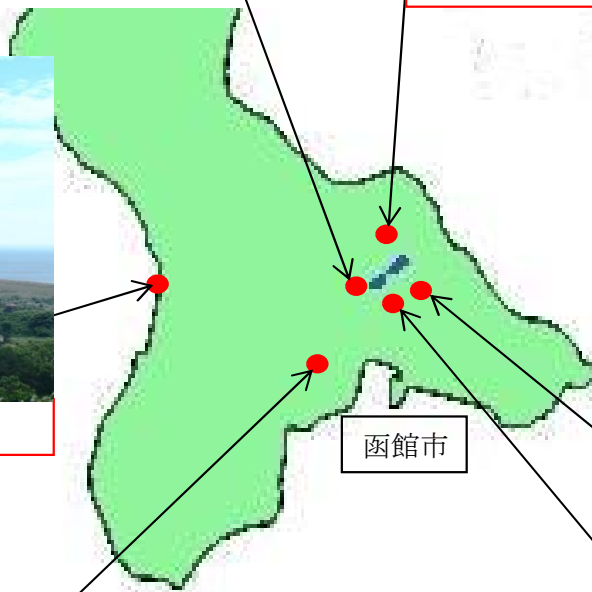
西大沼 (にしおおぬま) 国有林



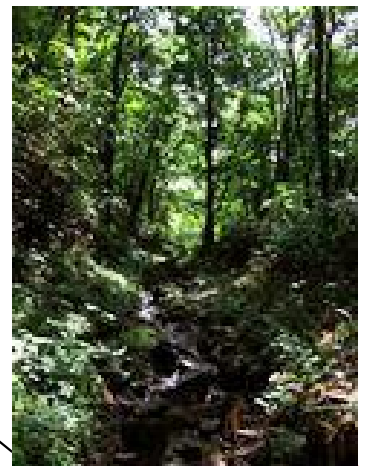
駒ヶ岳 (こまがたけ) 国有林



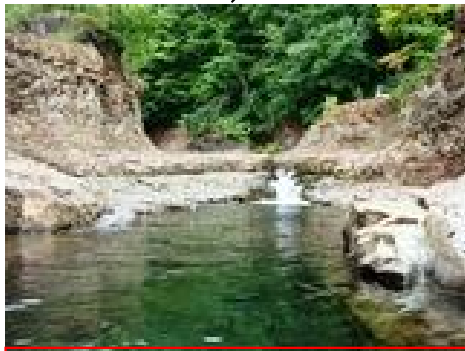
砂坂 (すなさか) 海岸林



函館市



カリマ国有林



茂辺地 (もへじ) 国有林



吉野山 (よしのやま) 国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

〒042-8550 北海道函館市駒場町2-13
TEL 0138-51-0381
FAX 0138-51-8908
E-mail h_koma_f@maff.go.jp